

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/02/19号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

CPIショックの2000ドル割れも短命に

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



アジア中華圏の旧正月で静かな一週間になるとの予想は見事に外れる結果となりました。13日に発表された1月の米CPIは、市場予想の前年比2.9%に対して3.1%と上振れ、下振れならそれほどの影響はなかったと思いますが、インフレ率がふたたび予想を上回る上昇というのはマーケットに冷や水をかぶせる結果となりました。その瞬間長期金利は4.15%から4.29%まで急騰、ゴールドは2029ドルから1990ドルへほぼ40ドルの急落となりました。これを書いている週末時点でもFedWatchでは3月での金利据え置き可能性は90%を超えて、5月の可能性も据え置きが60%を上回り、金利のhigher for longer がさらに伸びる見込みとなり、これまで2000ドルを割ることがなかったゴールドもさすがに大きく下げることになりました。しかしこの時点での筆者のデイリーレポートでは、2000ドル割れは中央銀行や個人投資家の買いにより、じわじわと買われてふたたび2000ドルを回復するだろうと書きましたが、まさに2000ドル割れはほんの数日、金曜日には小売り売上高が予想を下回ったことをきっかけに、ゴールドはふたたび2000ドルを回復しました。長期金利は依然として4.2%を上回っていることを考えると、この上げはむしろ2000ドル以下の強い買い意欲が下値を強烈に支えたことよってのショート筋の買戻しを早めたことがその要因と考えるべきでしょう。ただやはり上値を追うためには本格的に金利の低下を待つ必要があるでしょう。つまりFRBが本格的に金利下げを行うことがゴールドの大きな上昇の必要条件でしょう。だとすればそれが夏以降にずれ込み、ゴールドはそれまではおそらく2000~2050ドルといったレンジでの取引になるのではと思います。政策金利低下時期の先延ばしによる欧米の投資家のペーパーゴールドの売りと中央銀行や個人投資家の現物買いの綱引きが続きそうです。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

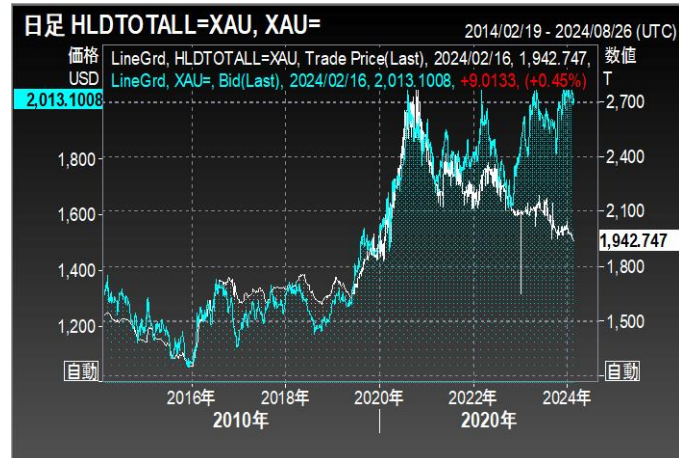
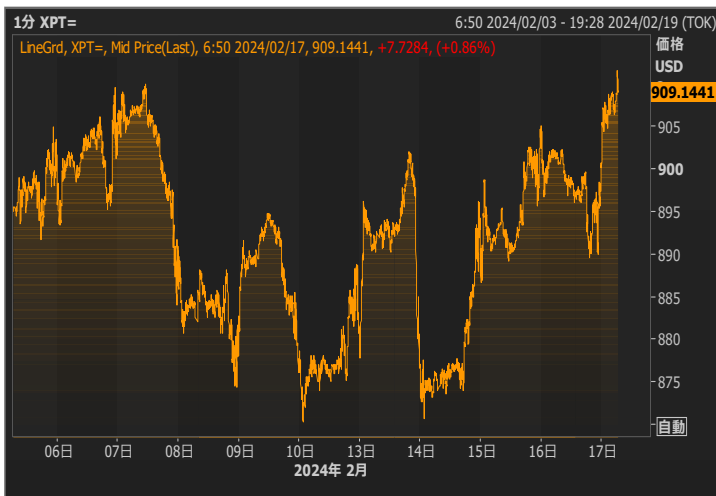
「シルバーの現状」

前週はシルバーが大きく回復した一週間になりました。CPIショックで22ドルを割り込む場面がありましたが、そこからの戻りはゴールドよりも大きくなり、金銀比価は90から85台まで大きく下落。シルバーの割安度が大きく改善されました。これをきっかけに本格的にシルバーの割安度が改善されていけばよいのですが。



「プラチナの現状」

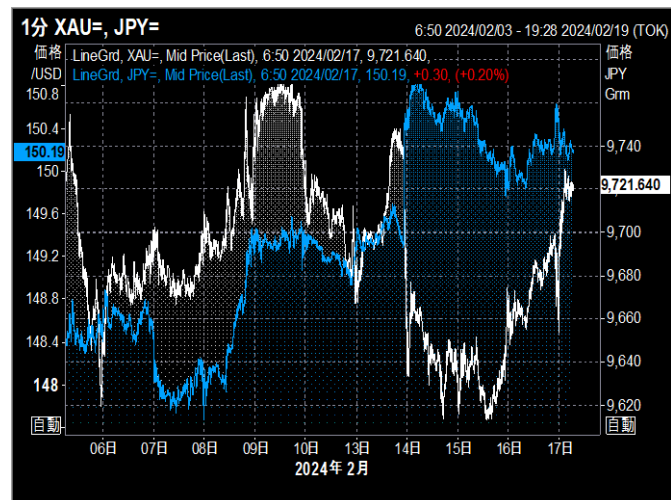
PGM全体が前週の弱含みから、今週はその訂正の週でした。特にパラジウムには大きなショートカバーが入りそれがプラチナをも引き上げた形になり、900ドルを回復しました。やはり900ドル割れは長期的な底値と考えてよいのでしょうか。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで